

普及活動情勢報告（令和2年5月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

省コスト化に向けた実証

～次世代団地のスマート農業実証検討会～



自動運搬ロボットによる残渣処理

5月13日、四万十町次世代団地において、スマート農業の実証検討会を開催しました。同団地では、昨年度、自動振動受粉システムや自動運搬ロボットといったスマート農機が導入されており、検討会では各技術の調査項目や方法について協議しました。今年度はそれらの技術実証について調査を行います。実証経営体の法人からは、「技術を有効活用して省力・省コスト化につなげたい。」と意欲的な意見をいただきました。

普及所は、実証経営体と連携して、今回導入された技術実証に向けた支援を行っていきます。

北幡地域への水稻苗の健苗供給！

～（一社）しまんと農楽里の水稻育苗が始動～



本年度最後の播種作業

複合経営拠点のしまんと農楽里は、4月21日から5月19日の期間に播種を実施し、稚苗、成苗併せて約2,000枚の水稻苗を北幡地域生産者に供給します。

普及所は、播種や育苗状況を確認し、病害等の情報を提供しました。温湯種子消毒を行い育てられた苗は天候にも恵まれ、健苗に管理されています。

法人からは、「地域の農家から苗の注文が増加している。今後も技術を高め、地域に貢献していきたい」と意識が高まっていました。

普及所は、今後、しまんと農楽里で取り組みが始まった露地ショウガ、ユズなどの栽培支援をしていきます。

苗半作！育苗巡回の実施！

～JA高知県四万十エコ栽培米生産部会～



育苗巡回

5月11日、JA高知県の四万十エコ栽培米生産部会の育苗巡回をJA職員と普及指導員5名で各生産者ごとに行いました。

巡回では生産者からの「あと何日で植えれそうか？」や「病気の出やすい条件は？」などの質問に対して、「にこまる」と「ぴかまる」の苗の生育状況を確認しながら、今後の管理などについて指導をしました。

普及所は、今後もJAと連携しながら、エコ栽培米生産部会の取り組みを支援していきます。